

# 自治会町内会 新しい参加者を増やす↑ための アイデア NOTE



自治会町内会の活動は、地域の安全安心な暮らしを守る、とても重要なものです。

ですが、全国的に自治会町内会の加入率は年々減少しています。

これまで、多くの自治会町内会の役員の皆さまが、加入者を増やすために、様々な工夫や声かけ、話し合いなどをされてこられたことと思います。

このリーフレットでは、地域活動への新しい参加者を増やすための、いくつかのアイデアをご紹介します。

「自治会町内会の活動は大切なのに、どうして入ってくれないんだろう？」

「何とかしなきゃとは思いますが、まず何すればいいの？」

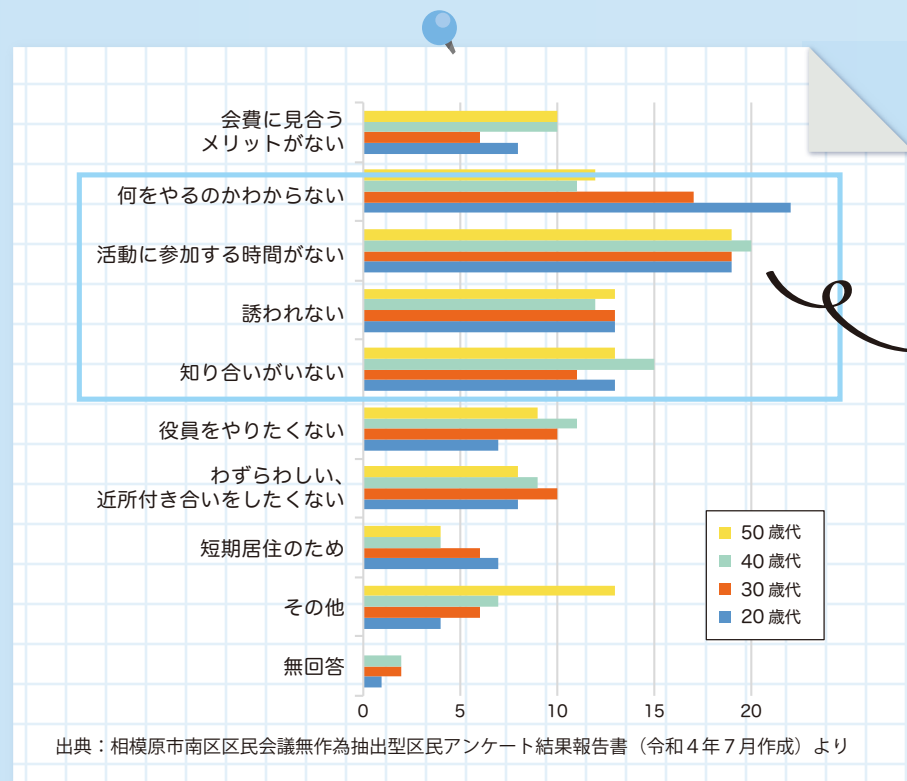
そんな思いをお持ちの役員の皆さま、ぜひご覧ください。

※次ページ以降、便宜上、「自治会町内会」を「自治会」と表記します。

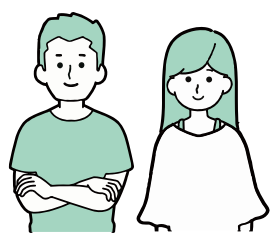


# 自治会は地域にとって大切な活動なのに、 どうして参加してくれないの？

## 自治会に加入しない理由（近隣自治体の例）

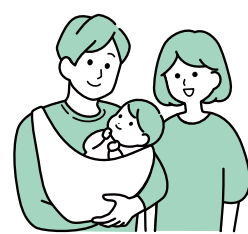


ライフスタイルの多様化により、自治会に対する意識も人それぞれです。  
様々な自治体で行われている、自治会未加入者向けのアンケートの結果等から、代表的な  
「自治会に加入しない理由（活動に参加しない理由）」を4つのモデルの視点からご紹介します。  
※下記に示す例は、あくまで本リーフレットにおけるモデルです。統計等に基づく定義ではなく、また、特定の考え方を示すものでもありません。



### 若者

- ・学生～新社会人
- ・一人暮らし
- ・将来的に卒業や結婚などで転居するかもしれない



### 子育て世代

- ・乳幼児期の子どもがいる共働き世帯
- ・家の外のことに目を向ける時間があまりとれない



### ファミリー

- ・小学生以上の子どもがいる
- ・学校やPTAを通じて地域との関わりはある程度ある



### 働き盛り

- ・独身もしくは大人のみの世帯
- ・子どもを通じた地域との接点がなく、地域情報が入りにくい

## 理由 1

## 自治会のことをよく知らない

自治会が行っている様々な活動の情報が入らず、これまでお祭り等のイベントにも参加するきっかけがなかったために、「自治会が何をしている団体なのかわからない」という人もいます。「よく知らない」からこそ、自治会活動に参加することに対して、漠然とした不安や抵抗感を持ってしまう人や、「自分には関係ない」「参加するメリットがない」と考えてしまう人もいるかもしれません。

もしかしたら、こんな風に思っているかも？



高齢者のための活動をしている団体なのかな？  
自分にはあまり関係ないかも？



一度入ったら抜けられないのかな…お手伝いすると、また色々頼まれそうで不安



自治会に参加すると、都合が悪い時に断りづらくなりそう



学校関係などのつながりもないし、地域活動に参加しなくても、支障はないだろう

## 理由 2

## 時間がない

共働き世帯の増加や育児・介護等の家庭ごとの事情、多様な働き方の普及等により、自治会活動に「時間を合わせられない」「時間を使えない」ことが、参加しない理由となっている人も多くいます。

もしかしたら、こんな風に思っているかも？



もっと短時間だったら学校やバイトの合間に参加できるんだけど



子どもの食事や寝かしつけの時間に被っているし、預けられる人もいない…曜日や時間帯を変えてくれたら参加できるのに



この総会、何時までなんだろう？  
もし時間が延びたら子どもの行事に間に合わないから、参加を見送ろうかな…



貴重な休みなので、自分の趣味や友だちと出かけたりすることに時間を使いたい

## 理由 3

## きっかけがない、参加しにくい

「参加してみたい」と思っても、きっかけがなかったり、ちょっとした気持ちのハードルがあったりして、はじめの一步を踏み出せない人もいます。

もしかしたら、こんな風に思っているかも？



同世代がいなくて参加しにくいな…友達と一緒にいいなら参加するのに



年上の方ばかりで、会議に出席するのも勇気がある、ちゃんと意見を聞いてもらえるかな



子どもと一緒に参加できる活動があればなあ



お祭りなどのイベントは子ども向けのもが多く、大人だけじゃ参加しにくい…





何とかしなければと思うけど、  
まずは何したらいいの？

## STEP 1 間口を広げる・参加してもらう より多くの人に「開かれた」自治会へ

### アイデア 自治会の活動や意義について、 未加入者に伝える広報をしてみませんか

- ◆「みんなで子どもを見守るまち」「誰もが安心して暮らせるまち」など自治会が活動を通じて実現したい「まちの姿」を盛り込んだ活動紹介チラシを未加入者へ配布してみるのはいかがでしょうか。
- ◆行事を周知する際は、実施する意義や目的、参加するメリット等を記載したチラシを配ると、理解や共感を得られやすくなり、参加につながりやすくなります。

+α デジタル機器に詳しい人がいたら、SNS やホームページでの発信も効果的です。



例

安心して暮らせるまちづくりのため、防災訓練を実施します。  
参加することで、被災時に助け合える関係づくりができます。



### アイデア これまでの活動に、 若い世代にも魅力的な要素をさらに加えてみませんか

- ◆例えば、自治会館で定期的実施しているサロンを、開催時間や対象を見直して「子育て中のパパママが気軽に集えるお茶会」にしてみると、子育て世代の自治会へのニーズの把握と、つながりづくりが同時に出来るかもしれません。

+α どんな内容がいいかわからない場合は、親族や知人など身近な若い人に聞いてみたり、地域の人にアンケートをとってみるのもいい方法です。



### アイデア 未加入者も参加できるイベントを検討してみませんか

- ◆自治会のイベントは会費で運営されているので、「加入後に参加してもらうのが原則」という考えの方が多いと思います。ですが、イベントへの参加は、自治会を知るひとつのきっかけとなり、長い目で見れば加入者の増加につながるかもしれません。まずはイベントに参加してもらい、自治会の活動内容や雰囲気について知ってもらってから、加入を勧めてみませんか。



+α 公平性について懸念がある場合、例えば会費制イベントにして、会員は無料にするという手法もあります。  
また日頃の緑化活動に GREEN×EXPO 2027 に向けた内容をプラスするなど、住民の関心やトレンドに合わせた活動・イベントにすると、未加入者も参加しやすくなります。

## STEP 2

## 運営にちょこっと参加してもらおう

お試し参加や少しの工夫で参加のハードルをぐっと低く



### アイデア ちょこっとお手伝いを募ってみませんか

- ◆「この日だけ」「この作業だけ」なら手伝える、という人もいます。お祭り等のイベントに人手がほしい場合は、漠然とボランティアを募集するのではなく、準備や運営の作業を細分化・明確化した上で「これを手伝ってほしい」「こんなことができる人いませんか」と呼びかけると、手を挙げてくれる人が増えるかもしれません。
- ◆一回だけの「お試し参加」のような枠を設けると、気軽に参加しやすくなります。

+α

- ・親子で参加できるお手伝いや、学生の専門性（保育やデザイン等）を活かしたお手伝いを募集してみてもいいかもしれません。
- ・参加者同士が仲良くなってグループ化したら、企画や屋台の一つを任せてみる、という方法もあります。

インターネットの  
買い物ならできる  
んだけどな

車なら  
出せるのに



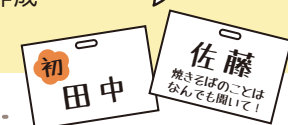
### アイデア 気持ちよくお手伝いしてもらえる工夫をしてみませんか

- ◆イベントのお手伝いに来てくれた人は、役員の皆さんのような経験や知識はありません。せっかく来てくれても、「何をしたらいいかわからない」「誰に聞いたらいいかわからない」となってしまうと、とても残念です。力を存分に発揮してもらえよう工夫を、できることからしてみませんか。

例

- ・事前顔合わせ・レクチャー（資料共有や説明動画等）
- ・当日の簡易マニュアル作成
- ・全員名札をつける

こんな名札なら、  
お互い声掛け  
しやすいかも？



### アイデア 若い世代の人も参加しやすい会議にしてみませんか

- ◆曜日や時間帯を見直す、短時間の開催を検討する、終了時間を厳守する、子ども連れ参加 OK にする等、できることから見直してみましよう。

+α

会議の日程が決まっている場合は、なるべく早くお知らせすると、仕事等の都合がつけやすいかもしれません。

## STEP 3

## 楽しかったらまた参加してもらおう

お手伝いから、いずれ担い手に…



### アイデア 「また手伝いに来たい」と思ってもらえる、 やりがいを感じられる工夫をしてみませんか

- ◆来場者に感想等を聞いて、運営スタッフで共有すると、「やってよかった」という気持ちになれるかもしれません。
- ◆打ち上げを開いて、感想や感謝の気持ちを共有するのもいいかもしれませんね。

+α

「できる人が、できる時に、できることだけ」「家庭や自分の事情を優先する」とみんなが思い合えば、活動を継続するハードルが下がります。

また来たくなる  
声掛けを

助かったよ、  
ありがとう。  
また時間があつたら、  
来てくれると  
嬉しいな。



すぐにできそうなものはありましたか？

チェックをつけて、役員の皆さまで共有してみてください



チェック		すぐできそう	やりたいけど すぐには難しい	無理かもしれない
STEP 1	・未加入者に自治会を知ってもらうための広報 ・若い世代にとってさらに魅力的な活動への展開 ・未加入者も参加できるイベントの開催	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
STEP 2	・ちょこっとお手伝いの募集 ・気持ちよくお手伝いしてもらえる工夫 ・会議の開催時間等の見直し	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
STEP 3	・「また来たい」と思ってもらえる声掛けや やりがいを感じてもらえる工夫	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

## コーディネーター派遣制度を 利用してみませんか？

チェックがたくさん  
ついたなら

- ◆ 地域のお悩みに応じて、コーディネーター（専門家）を選定し派遣します。課題解決を図るためのアドバイスや話し合い等のサポートが受けられます。
- ◆ 派遣にかかる費用は区役所が負担します。

### 役員で話し合い

解決したい課題は何か、どんなアドバイスやサポートが欲しいのか、まずは役員の皆さんで話し合ってみましょう。

### 申込書を記入し、区役所に提出

- ・申込後に、具体的な時期や派遣方法（定例会にあわせて派遣、オンラインで…など）、どんなコーディネーターがいいかなどをお伺いします。

### 派遣実施

- ・コーディネーターの選定が終わったら、区役所からご連絡します。
- ・派遣当日まで、区役所が中心となって、コーディネーターとの調整を進めます。

## 派遣を受けた自治会の声

### 困っている内容

- ①自治会に若い世代の参加者を増やしたい。
- ②担い手不足の解決策を知りたい。

### 対応した内容

全国で、1000 を超える自治会町内会活性化支援の実績がある講師を派遣。講義後、付箋を用いて感想、質問等を募ったところ、参加人数を上回る付箋が集まり、その内容を踏まえて、さらに講師からのアドバイスを実施した。

### 派遣を受けた自治会のその後

町内を 10 ブロックに分け、会議で担い手不足などについて話し合っています。夏には福祉女性部と子ども会で子ども祭りを開催。当日限りのお手伝いを募り、若い人が参加してくれました。

まずは  
ご相談ください

コーディネーター派遣のお申込み・このリーフレットについてわからないこと

瀬谷区役所 地域振興課地域力推進担当

電話：367-5789 FAX：367-4423

メール：se-chiikiryouku@city.yokohama.jp

